肝炎治療受給者証(インターフェロン治療)の交付申請に係る診断書(2回目の制度利用)

,	,	
(保健所 受付印	1
٠,		1

ふりがな			性別	生年月日(年齢)								
患者氏名			男・女					(満	歳)			
	郵便番号											
住所	電話番号())											
診断年月	<i>t</i> - D	前医(あれば	医療機関名									
H2 F71 1 7 3	年 月	記載する)	医師名									
過去の治療歴	該当する項目にチェックする。 1. B型慢性活動性肝炎の場合 □ これまでにペグインターフェロン製剤による治療を受けていない。 2. C型慢性肝炎またはC型代償性肝硬変の場合 (1)過去のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の治療歴 □ 以下の①、②のいずれにも該当しない。 ①これまでの治療において、十分量のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の48週投与を行ったが、36週目までにHCV-RNAが陰性化しなかったケース ②これまでの治療において、ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による72週投与が行われたケース (2)過去の3剤併用療法(ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤)の治療歴 □ 3剤併用療法の治療歴なし。 □ 3剤併用療法を受けたことがあるが、十分量の24週投与が行われなかった。 (具体的な経過・理由: (3)インターフェロンフリー治療歴 □ インターフェロンフリー治療歴あり。(薬剤名: □ 直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療である。											
検査所見	今回の治療開始前の 1. B型肝炎ウイルス (1) HBs抗原(-(2) HBe抗原(-(3) HBV-DNA定 2. C型肝炎ウイルス (1) HCV-RNA定 (2) ウイルス型 3. 血液検査 AST ALT 血小 板 4. 画像診 4. 画像診 4. 画像診	スマーカー +・一) (検査 E +・一) HBe抗体 量 (単位: スマーカー (検査 型 (単位: マーカー (検査 型 IU/I E日: ロー IU/I IU/I	3: (+・一) 、別定 :日: 位: プ)1・セ に施施 に ((施施設設	法)(年 月 刺定法 タイプ(グルー の基準値: の基準値: の基準値:	検査日: 日) -プ)2 (該i ~ ~	_) _) _)	年 月	日)				
診断	該当番号を〇で囲む 1. 慢性肝炎 2. 慢性肝炎	(B型肝炎ウイ (C型肝炎ウイ	ルスによる)					,				
	3. 代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)											
肝がんの合併	肝がん 1. あり 該当番号を〇で囲む		3. 過去に	肝がんはあった	たか現在はな	よし(治)	愈後)					
治療内容	は 1. インターフェロ 2. インターフェロ 3. ペグインターフェロ 3. ペグインターフ 5. インターフェロ 6. ペグインターフ 7. その他(具体)治療予定期間	$ m{\Sigma} lpha$ 製剤単独 $ m{\Sigma} m{E} m{M} m{E} m{M} $	ビリン製剤 バビリン製剤 さい。	∓ 月~	年	: J) 月)					
治療上の問題点		• ===			·							
医療機関名及び				Ī	記載年月日		年	月	B			
(直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療の場合は、いずれかにチェックが必要) 口日本肝臓学会肝臓専門医 口和歌山県が承認した医師 医師氏名												

- (注) 1. 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。
 - 2. HBs抗原、HBe抗原、HBe抗体以外の検査所見は、記載日前6か月以内(ただし、インターフェロン治療中の 場合は治療開始時)の資料に基づいて記載してください。
 3. 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。
 4. 和歌山県が承認した医師とは、和歌山県肝炎治療特別促進事業に係る登録医のことをいいます。